

大学入試を考える ～新しい試験の開発～

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会の挨拶 吉本 高志 大学入試センター理事長
- 13:05 セミナーの趣旨 荒井 克弘 入学者選抜研究機構長
- 13:15 新しい時代の試験と障害者受験特別措置
報告：南谷 和範 コメント：立脇 洋介
- 14:05 新しい学力試験 ―「教科」をめぐって
報告：小牧 研一郎 コメント：繁樹 算男
- 14:55 休憩
- 15:10 新しい入試の ICT 基盤
報告：土屋 俊 コメント：田中 義郎
- 16:00 質疑と全体討論
- 16:50 閉会

日時 9月8日(土) 13:00～17:00

場所 NTT データ 駒場研修センター

東京都目黒区駒場 2-18-2

□お申し込み

8月31日(金)までに大学入試センター入学者選抜研究機構のウェブページにてお申し込みください。定員は200名で、参加無料です。

<http://www.dnc.ac.jp/modules/research/content0011.html>

□お問い合わせ：kikou-seminer@rd.dnc.ac.jp

Tel. 03-5478-1378

大学入試を考える～新しい試験の開発～

大学入試の中心的なテーマが競争選抜から高大接続へ移ってすでに20年余りが経とうとしている。この間、多様な高校と多様な大学とをいかに接続させるか、について関係者の間ではさまざまな取り組みがなされてきた。5教科7科目を一律に課した共通第1次学力試験から1教科1科目でも利用を可とする大学入試センター試験に切り替わったことも、高大接続の多様化に対応する為の有力な取り組みのひとつであった。推薦入試・AO入試などは、それに比べれば周延的な方策にすぎなかったともいえる。しかし、それらがいまやメジャーな入試ルートに成長し、大学入学者の半数近くを占めるまでに至った。その事実、90年代以降に対する政策的な見直しからも大きく外れてきたと言わざるを得ない。

入試改革として、いま必要なことは、この20年間に生じた大学入試制度と高大接続の現状とのズレを是正することである。そのために新しい接続ツールの開発が求められている。その中には、障害をかかえた受験者のための特別措置も含まれる。接続ツールというと、学力試験というイメージに固定化されがちであるが、まずは現在の大学入試に何が欠けているかを点検し、より良い高大接続の実現のために有効な接続ツールとは何かを論じた。多くの方のご参加と活発な議論とを期待する。

報告者・コメンテーター紹介



荒井 克弘 (あらい かつひろ)
大学入試センター試験・研究統括官。
入学者選抜研究機構長。
専門は高等教育研究、教育計画論。



南谷 和範 (みなたに かずのり)
入学者選抜研究機構特任准教授。
専門は政治学史、福祉工学。



立脇 洋介 (たてわき ようすけ)
入学者選抜研究機構特任助教。
専門は社会心理学、発達心理学。



小牧 研一郎 (こまき けんいちろう)
入学者選抜研究機構特任教授。
東京大学名誉教授。
専門は実験物理学、適性試験研究。



繁樹 算男 (しげます かずお)
入学者選抜研究機構客員教授。
帝京大学教授、東京大学名誉教授。
専門は計量心理学、ベイズ統計学。



土屋 俊 (つちや しゅん)
入学者選抜研究機構客員教授。
大学評価・学位授与機構教授。
専門は哲学、認知科学。



田中 義郎 (たなか よしろう)
入学者選抜研究機構客員教授。
桜美林大学総合研究機構長。
専門は比較・国際高等教育学



会場へのアクセス

NTT データ駒場研修センター
東京都駒場 2-18-2

京王井の頭線

駒場東大前駅より徒歩 5 分

(JR 渋谷駅よりタクシーで 10 分程度)